



ふれあい

平成27年8月 NO5
発行 門川町教育研究所
所長 新原とも子
TEL 63-1566
五十鈴小学校内(教育相談室)

夏休み後半を計画的に乗り切り、2学期にそなえて準備をしよう！

夏休みも、半ばにさしかかりました。今月は、夏休み後半を計画的に乗り切り、2学期にそなえて準備をしよう！ということで、夏休み後半の家庭学習の工夫と、2学期に向けて、子どもを支え・育む“かどがわ4か条”を実践しよう！ということから、テレビやゲーム、携帯電話やスマートフォンなどの「メディアコントロール」に関連する情報をお届けします。



夏休みの宿題や課題を計画的にやりとげよう！

- 目標を立て、期日や時間、1日にすませる量を決めて、最後までやり抜こう！



何が終わって、何が終わっていないかを確認しよう！

何を完成させるか、目標を立てます。

終わっていること

- 国語と算数(数学)のプリント
- 社会と理科の課題

終わっていないこと

- 自由研究
- 読書感想文



長い夏休みの間には、どのような宿題や課題などが出ているのかもわからなくなりがちです。そこで、まず、これまでに何ができて、何ができていないかを確認して目標を立てるようにします。その中で、毎日続けなくてはできないもの、集中して取り組むとできるものなどを分け、やらなければならぬことをはっきりさせます。

何を、どれだけ、いつするかを決めよう！

具体的に、やることと、日にちと、分量を明確にします。

何を？

- 算数(数学)のプリントを

どれだけ？

- 1日○ページずつ

いつする？

- 朝、○時から○時まで、○時間



何を、どれだけ、いつするかを、具体的に決めて実行しなければ、最後までやりとげることはできません。特に、どれだけするかを決めておかないと、宿題は次第に先延ばしになってたまってしまい、やりとげることが難しくなります。いつするかで時間を決める場合、勉強を優先して決めるようにします。遊びに行った後に、というのは、できない原因になります。

夏休み末までを2つに区切って取り組もう！

残り半分ある休みを、2つに区切るとやりやすくなります。

8月5日～8月14日

- 国語と算数(数学)のプリント
- 読書感想文を書く

8月15日～8月24日

- 自由研究を完成させる
- 習字と工作をする



夏休みの残りの日数を、前半と後半に分けて、やりとげる内容を分けて実行するようにします。長い期間を考えると、どうしてもリズムになって、最後までやりとげるのが難しくなります。期限を切って実行することは、計画的な学習習慣の育成にもつながります。

教育研究所からのアドバイス

この3つのポイントを押えて勉強をやりとげることで、子ども一人ひとりに、自分自身で学ぶ「学習力」が身につきます。夏休みなどの長い休みは、「学習力」を育てる絶好のチャンスです。夏休みも残り半分となりました。教育研究所おすすめの方法で、最後までやり抜く力を育てましょう。

子どもを支え・育て“かどがわ4か条”を、実践しましょう！

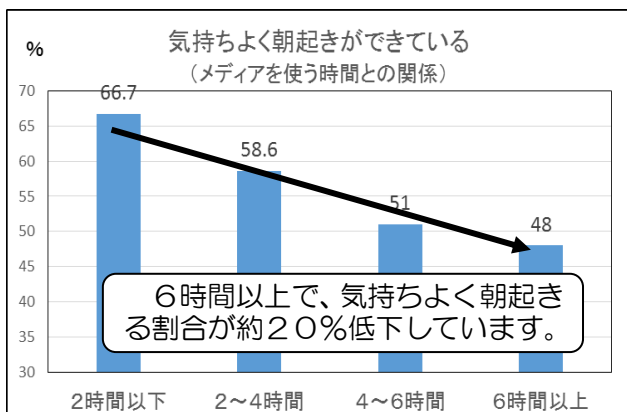
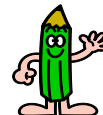
○ テレビやゲーム、携帯電話やスマートフォンなどのメディアのルールを守ろう！

メディアのルールは、守れていますか！

夏休みは、テレビをみたり、ゲームをしたり、携帯電話やスマートフォンを使ったりする機会が増えがちです。その習慣を2学期に持ち込まないようにしましょう。2学期の生活習慣や学習習慣が乱れてしまう大きな原因になります。そのために、もう一度この機会に、メディアを使う場所や回数、時間などのルールが守れているかを確認しましょう。

メディアが子どもにおよぼす影響！

文部科学省の調査データから引用しました。(小学生)



朝起きられないなどの影響

テレビやゲーム、携帯電話やスマートフォンなどのメディアに接する時間が6時間以上の子どもは、2時間以下の子どもに比べて、朝気持ちよく起きられないということがグラフからわかります。実態調査の結果、メディアが、子どもたちの生活に深刻な影響をおよぼしているといえます。

メディアの長時間使用で影響が見られた例

- ムカつくことがよくある。(27%高い)
 - 生きていても仕方がないと思う。(24%高い)
 - 人の役に立ちたいと思う。(20%低い)
 - 自分の役割を果たしたい。(20%低い)
 - 寝る時間が遅い。(18%高い)
 - 人をなぐってみたいくなる。(18%高い)
 - 自分にはよいところがある。(12%低い)
- ※ 6時間以上メディアに接する子どもは、生活や考え方、態度など、様々な面でマイナスの影響を受けています。

門川町PTA協議会がすすめるルール

夜9時から、テレビをみたり、ゲーム機や携帯電話、スマートフォンを使ったりしません。

- ① 家庭で、テレビの視聴やゲーム機、携帯電話やスマートフォンなどのメディアに関する約束を決めましょう。
(例) ゲームは1日1時間まで、使用は土・日曜日だけ など
- ② テレビやゲームなどに使う時間を、家族団らんの時間や家庭学習、読書の時間として使いましょう。
- ③ 携帯電話やスマートフォンは、できるだけ子どもに買い与えないようにしましょう。
※買い与える場合は、親がしっかりと管理しましょう。

教育研究所からのアドバイス

「メディア」をめぐる問題は、「メディア依存症」や、「メディア漬け」などと言われて、大きな社会問題になっています。さらに、「ネットいじめ」や「ネット犯罪」もこの延長線にあります。そのために、家庭で、使う場所や回数、時間を決めるなど、ルールをつくって、子どもの健全な育成を図る必要があります。

子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話(門川町教育相談室)
63-1566

~~~~返信欄 (教育研究所便り「ふれあい」へのご意見や感想をお聞かせください。)~~~~